

# 2-⑤ 集ってまちづくり—環・輪・和・話で繋がりあう—

まちづくり講座：～やっぱり向東が一番ええわ～というまちづくりをしよう！～

地域を学ぶ	○	地域でつながる	○	地域に還す	○
-------	---	---------	---	-------	---

## 1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容
令和元年 6月29日(土) 14:00~16:00	尾道市向東公民館	○まちづくり3世代交流会 ○まちづくり実行委員会の立ち上げ ・交流会, 向東の強みと弱みを出し合う
8月4日(日) 14:00~16:00		○まちづくりを学ぼう① ・弱み(課題)についての話し合いと絞り込み 見えないものをデザインする仕事-コミュニティデザイン- 講師: コミュニティデザイナー 内海 慎一 氏 (8・10・12・2月)
9月22日(日) 10:00~12:00		○向東町の歴史に学ぼう 講師: NPO 法人長井浦文化財研究所 榊原 恒司 氏
10月14日(月) 10:00~12:00		○まちづくりを学ぼう② ・地域課題への取組をまちづくりに生かす手法について
12月22日(日) 10:00~12:00		○まちづくりの動きをつくろう① ・課題解決のための具体策についての話し合い
令和2年 2月9日(日) 10:00~12:00		まちづくりの動きをつくろう② ・課題解決のための具体策についての話し合い ・発表会準備
3月15日(日) 10:00~12:00		地域に向けて発表会をしよう (※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)



対象	地域各種団体, 小学生, 中学生, 地域住民
経費	35,690円 (内訳) 消耗品 4,168円 飲物・お菓子 15,892円 通信費 630円 記録写真代 10,000円 謝礼 5,000円 (講師謝金は行政負担)
連携先	尾道市企画財政部政策企画課, 尾道市教育委員会生涯学習課 向東認定こども園, 尾道市立向東小学校, 尾道市立向東中学校, 15の地域団体, 社会教育団体, 地域住民

問合せ先	尾道市向東公民館 〒722-0062 尾道市向東町 8670-2 電話: 0848-44-3955 ファクシミリ: 0848-44-3955
------	--

## 2 講座設定の理由（学習の目的）

○人口減少や少子高齢化が進み、向東町が次第に活気を失ってきていることを踏まえ、

- ① 町の強みや弱み（課題）について、地域住民間で共有を促す。
- ② 住民が主体的にまちづくりに参画しようとする態度を育成する。

上記の2つの目的の達成を通して、元気なまちを取り戻すことを目指す。

## 3 学習目標

○地域課題について、講師による講義形式だけでなく、グループワークを中心に話し合い、各グループの意見を発表し合うことで、課題に対する考えを深め、それぞれの意見について理解し合う。

（各グループで出された地域課題）

「買い物の場所」、「高齢者の交通手段(免許返納の問題)」、「耕作放棄、空き家対策」、「子供の遊び場、見守りの人」、「地域(高齢者)ふれあいの場」、「外部へ地域の魅力発信を考える」

## 4 事前に必要な知識や準備物

○事業の実施方法についての助言や講師の紹介をしてもらうため、政策企画課まちづくり推進係と連携する。

○実行委員会を立ち上げ、「まちづくり講座」の企画・運営やグループワークの推進役を地域住民に委ね、その代表者と随時連携する。

## 5 留意点

○「まちづくり講座」の方向性について共有するために、第1回の3世代交流会において、向東町の強みと弱みを話し合い、目指すまちの姿を明確にする。

○グループワークでまちづくりの対策案や意見について話し合う際には、具体性があること、行政や専門家と協働すれば住民の力で実現可能であるものを重視する。

## 6 成果

○毎回60人前後の出席者があった。和やかな雰囲気の中で多くの意見やアイデアが出され、地域課題に対する考えを深めたり、住民相互の意見を理解し合ったりすることができた。

○生涯学習課だけでなく、政策企画課とも連携しながら取り組み、講座を開催したことが市ぐるみで地域の将来について考えるための契機となった。

（主な意見）

「高齢者の交通手段のグループに入り話し合いを進めるうちに、私達子供にとっても高齢者の問題は大切な事と分かりました（6年生女子）」、「6回の講座で話し合っている事が実現に向かっていく。すごい事をやっていると思う（60代男性）」、「世代を越えて、これからのまちづくりを考えたことの意義は大きい。次世代を担う子供達に期待する（70代男性）」

## 7 課題

○今後、地域に出て実際にまちづくりに向けた活動に取り組む際には、資金が必要となってくる。そのため、どのような手段で資金づくりを行うのかが大きな課題である。

（地域での活動例）

「耕作放棄地を借りて蕎麦を植え蕎麦打ち体験をする」、「道路の側面に花を植えて花いっぱいにする」、「海で魚釣り大会をする」、「高齢者と子供の交通教室を開きふれあいの場をつくる」、「空き地に砂場をつくり子供の遊び場づくりをする」

## 8 今後に向けて

○3月15日の発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。今後、時期を見計らい発表会を実施し、その後の地域の活動へつなげていく。